

## スキーバス

# カーブの下り坂、ガードレール突き破り、転落

## 14人死亡を確認

2016年01月15日 10時57分

15日午前2時頃、長野県の国道で、スキー客を乗せたバスが道路脇の崖下に転落した。

同県警や消防によると、バスには乗員・乗客計41人が乗車しており、このうち男性9人と女性5人の計14人の死亡が確認されたほか、27人が重軽傷を負った。

長野県警は同日、捜査本部を設置し、自動車運転死傷行為処罰法違反（過失運転致死傷）容疑で捜査を始めた。

県警などによると、死亡したのは20～30歳代が中心で、うち1人はバスの男性運転手とみられる。

道路はバスからみて緩やかな左カーブの下りの坂道で、バスは対向車線にはみ出した後、ガードレールを突き破って道路右側約3メートルの崖下に転落。

立ち木にぶつかり、横転したとみられる。

---

## 国交省 きょう、正午からバス運行会社に特別監査

### 運行管理・健康管理に問題が無かったか確認

2016年1月15日 10時36分

今回の事故で、国土交通省は15日正午から、バスを運行していた東京都の会社に、特別監査を行うことを決めました。

特別監査では、関東運輸局の担当者らが会社に立ち入り、バスの運行管理や運転手の健康管理などに問題がなかったか確認することにしています。